

森林のはたらきを知って、水源を守ろう！

森林のはたらきによって、水が生まれているんだね。森林を守らないといけないね！

筑後川などの川をさかのぼっていくと、水源となっているダムや森林にたどり着きます。私たちに豊かな暮らしをもたらしてくれる水。その源は森林にあります。じゃ口をひねると、水が出る。その向こうには、水で結ばれた水源地域・流域があることに、改めて思いをはせ、感謝の気持ちを忘れずに使っていききたいですね！

水は森林から生まれる

「緑のダム」と呼ばれる森林のはたらきを、知っていますか？豊かな森林は、降った雨を地中にしみ込ませ、そこでたくわえられた水は、きれいになってゆっくりと川やダムに流れ込みます。これを森林の「水源かん養機能」といいます。森林を守ること…それは水を守ることになるのです。

水を育む森林をみんなで守りましょう！

森林が荒れると、水をたくわえ、水や土が流れ出るのを防ぐはたらきが弱くなり、川の水がなくなったり、土砂崩れなどの災害が起こりやすくなります。森林のはたらきを保つためにも、水源地域では、森林が荒れないよう手入れをして守る必要があります。

玄界灘の水「飲む海水」を買って森林を守ろう！

「飲む海水」を3本買うと、苗木1本に。

「飲む海水」の販売1本につき100円を、森林と水を守るための植樹の苗木代として活用しています。森林保全に貢献できますので、ぜひ、お買い求めください。

※福岡市役所 1階とふくふくプラザ 1階にて販売中(1本140円)



水源地域とのさまざまな交流体験に参加してみませんか。

福岡市水道局では、市民の皆さんと一緒に水源地域を訪れ、植樹や下草刈りなどの森林の手入れをしたり、水源地域住民の方々と交流を深める事業を行っています。子どもから大人まで幅広い世代の方が参加しています。



- ・200海里的森づくり (日田市中津江村)
- ・こども水たんけん隊 (朝倉市)
- ・弥生の都吉野ヶ里交流事業 (吉野ヶ里町)



今後、市政だより等で参加者を募集しますので、お見逃しなく！

弥生の都吉野ヶ里交流事業(吉野ヶ里町)

福岡市水源林ボランティアの活動

私たちが暮らす福岡市に水の恩恵をもたらす水源かん養林を守るため、水を育む森林の大切さを理解し、保全活動を目的として福岡市水道局と共働で活動しています。

会員募集中

福岡市水源林ボランティアの会

ホームページ: <https://r.goope.jp/suigen/>

【流域連携課】電話 092-483-3194 ファクス 092-483-3252 メール ryuiki.WB@city.fukuoka.lg.jp

令和6年度の主な取組みと予算額

水道事業の基本計画「福岡市水道長期ビジョン2028」(平成29～令和10年度)及び実施計画「福岡市水道中期経営計画」(令和3～6年度)に基づき各事業を着実に推進します。

施策目標 ① 水の安定供給と節水型都市づくりの推進

将来にわたり、安定的に水道水を供給するとともに、限りある水資源を有効に活用します。
(主な取組み)

配水管の整備 ● 配水管の更新(約45km)や新設		119億1千万円
浄水場の再編 ● 乙金浄水場の増強や高宮系送水管の整備 等		48億3千万円

施策目標 ② 安全で良質な水道水の供給

全てのお客さまに安心してお使いいただける水道水を提供します。
(主な取組み)

水源かん養林の整備 ● 水道局が所有する市内水源かん養林の整備(主伐等)		6千万円
水質管理の充実 ● 水質検査機器の更新 等		7千万円

施策目標 ③ 危機管理対策の推進

より災害に強い水道を目指して、多様なリスクに迅速かつ的確に対応します。
(主な取組み)

耐震ネットワーク工事の推進 ● 収容避難所などへの管路の耐震化		4億5千万円
危機管理体制等の充実 ● 給水車の追加配備 等		5千万円

施策目標 ④ 安定経営の持続

将来にわたり、安定経営を持続させ、経営の基盤となる水道技術を確実に次世代に継承していきます。
(主な取組み)

積極的な情報提供 ● 広報紙「みずだより」の発行、こども水道教室の実施 等		3千万円
水道ICTの推進 ● 人工衛星画像を活用した水道管漏水調査 等		2千万円

【経営企画課】電話092-483-3107 ファクス092-482-1376 メール k-kikaku.WB@city.fukuoka.lg.jp